

2026年3月24日

**「親が重い病気になったとき、子どもがそれを理解し、向き合えるように支えるには」
対談動画を公開しました**

このたび、明治安田総合研究所は「親が重い病気になったとき、子どもがそれを理解し、向き合えるように支えるには」をテーマにした対談企画を実施し、動画を公開しました。

親が病気の子どもと家族の支援に長年取り組んだ、この分野の第一人者であるコンサルタントで米国の非営利団体 Wonders & Worries の共同研究者のキャスリーン・マツキュー（Kathleen McCue, MA, LSW, CCLS）氏と明治安田生命保険相互会社 取締役 代表執行役 グループ CEO 永島英器社長との対談を行ないました（撮影日 2025年11月14日）。

親の病気を子どもにどう伝えるかは、家族間の信頼と精神的回復力に影響を及ぼします。この対談では、親が子どもにどう自分の病気のことを伝えるかについて、話し合われています。

病気は誰にとっても無関係ではありません。本動画が、当事者の方やご家族、周囲で支える立場の方だけでなく、これまで病気を身近に感じる機会が少なかった方にとっても、日々の関わり方を考える一助となれば幸いです。

本対談は明治安田総合研究所による企画であり、当研究所と包括連携協定を結んでいる特定非営利活動法人 Hope Tree と一般社団法人日本癌医療翻訳アソシエイツの協力を得て実現しました。

明治安田総合研究所は、確かな安心をお届けする明治安田グループの一員として、さまざまな領域の専門家とも協働しながら、クオリティの高い調査研究成果を発信することで、お客さまの価値創造に貢献してまいります。

この内容をご確認いただいたうえでのご意見、ご感想とご質問がございましたら、ぜひ明治安田総合研究所のソーシャルサポートチームにお寄せください。

【動画内容】（約 18 分）

YouTube から動画をご覧ください。

<https://youtu.be/5SfH0iMhF7g>



- 明治安田の社会課題解決に向けた想い (約 3 分)
- 「モノ消費」から「コト消費」へ 「コト消費」から「イミ」消費へ (約 30 秒)
- 病気の親を持つ子どもたちについて (約 1 分)
- 子どもたちの抱える困難について (約 2 分)
- 周囲の大人にできること (約 2 分)
- 保険会社の営業職員に何ができるか (約 3 分)
- 3つのC (約 30 秒)
- 知識に支えられた支援で地域格差を埋める (約 2 分)
- 利他の心・利他の行動がもたらすもの (約 3 分)

視聴後、アンケートにご協力いただけますと幸いです。

<https://forms.gle/js4qtqL6qndhqBHd9>



【お問い合わせ先】

明治安田総合研究所 開発支援部 ソーシャルサポートチーム

TEL : 03-6261-6411 E-mail: oncology.acp.myri@gmail.com

(ご参考)

■ 明治安田生命保険相互会社について

明治安田生命保険相互会社は、経営理念に「確かな安心を、いつまでも」を掲げ、相互会社として長期に安定した経営と、お客さま一人ひとりの人生に寄り添うアフターフォローの提供をめざしています。超高齢社会の進展に伴う健康寿命の延伸や社会保障費の抑制が社会的課題となるなか、2「大」プロジェクトの一つである「みんなの健活プロジェクト」を通じた「健康寿命の延伸」に注力しています。詳細は、<https://www.meijiyasuda.co.jp/index.html> をご参照ください。

■ 株式会社明治安田総合研究所について

明治安田総合研究所は、“明治安田”のシンクタンクとしてヘルスケア、デジタル技術、経済・生活・社会保障等の調査を行なっています。

ヘルスケアに関する主な研究テーマは、がん・非がんの経済毒性やアドバンス・ケア・プランニング（通称：人生会議）やがんの教育啓発業務、循環器病分野などで、さまざまな領域の専門家と協働して取り組んでいます。

市民やお客さま視点に立った創造的かつクオリティの高い調査研究成果を発信することで、お客さまのQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上と価値創造に貢献しています。

詳細は、<https://www.myri.co.jp/>をご参照ください。